

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第3回加東市教育振興基本計画策定委員会
開催日時	令和7年10月9日(木) 15時00分から16時46分まで
開催場所	発達サポートセンターはぴあ 2階 多目的室
議長の氏名 (委員長 田中寿一) 出席及び欠席委員の氏名 (出席委員) 別惣淳二委員、田中寿一委員、後藤純子委員、神田英昭委員、安原一樹委員、石井博昭委員、山羽勲委員、竹内貞美委員、藤川憲二委員、高橋憲司委員、竹内守男委員 (欠席委員) 稲継健太郎委員	
説明のため出席した者の職氏名 市民協働部 人権協働課長 小坂淳子	
出席した事務局職員の職名 教育長 藤原路寛 <教育委員会事務局> 教育振興部長 鈴木敏久、こども未来部長 近澤孝則、参事兼学校教育課長 井上裕子、発達サポートセンター副課長 鷹尾有紀、教育総務課長 西山英希、学校給食センター所長 芹生祥子、生涯学習課長 松本裕介、中央図書館長 藤田智架子、小中一貫教育推進室長 高田篤、小中一貫教育推進室副課長 泥谷智明、青少年センター所長 花田和典、こども教育課付課長 出井美穂、学校教育課副課長兼部活動改革推進室長 郡龍仁 <策定委員会事務局> 教育総務課副課長 堅田美佳、教育総務課主査 鷹尾実和	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 【議題、会議結果】 (1) 第4期加東市教育振興基本計画の素案について 事務局から資料1、資料2に基づき説明し、委員から質疑あり。 【会議の経過】 別紙、「令和7年度第3回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過」のとおり 【資料】 ○資料1 第4期加東市教育振興基本計画素案 ○資料2 第4期加東市教育振興基本計画の策定スケジュールについて	

令和7年11月18日

委員長

田中寿一

署名人

神田英昭

署名人

藤川憲二

【別紙】令和7年度第3回加東市教育振興基本計画策定委員会 会議の経過

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 会議録署名委員の指名

(委員長)

議事に入る前に会議録署名委員の指名について。第3回は神田委員、藤川委員にお願いします。

会議録の確認については、事務局からメール、書面等でお送りしますので内容のご確認をお願いします。

4. 議題

(1) 第4期加東市教育振興基本計画の素案について

(委員長)

まず、議題1、第4期加東市教育振興基本計画の素案について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

○資料1、資料2に基づき説明

(委員長)

はじめに、前回からの変更点についての確認をお願いします。37ページまでの黄色で色付けしている箇所を含めて前回からの変更点について、質問はございますか。

(委員)

まず、総合評価について。資料ではA判定、B判定の基準、目標設定および評価方法について、具体的な基準がわかりづらかったです。ただ、今の説明では毎年点検があるとのことなので、そちらに誘導してもらえたらと思います。

続いて、基本方針Ⅲの評価がCやDが多く、かなり低いと思います。とは言いつつ、【主な取組と成果】を読むと、ほとんどが「しました。」と事実だけを述べていて、課題が見えません。例えば、その前の28ページ(3)「学校施設の整備と就学支援」の最後の一行に「～ICT環境の充実を進める必要があります。」と課題が明確に書かれていますが、29ページではほとんど「やりました。」としか書いていなくて、これがどうすればBやCになるのか、わかりづらいです。

(委員長)

全体的な書きぶりについて、対応まで含めての記述についてのご質問です。事務局お願いします。

(事務局)

総合評価を入れることにより、逆にご指摘いただいたような点が見えている状況があり

ます。個々の細かい内容については、各年度の点検と評価の成果指標も含めて客観的な判断で総合評価を付けていますが、どういう整理ができるか、ご質問に対応できる整理の方向を文言も含めて検討したいと思います。

(委員長)

1 か所ではなく、それぞれについての対応が必要なため、事務局で預かり、回答させていただくということによろしいですか。

(委員)

全体的な書きぶりのトーンがこのようになっていますので、意見しました。

(事務局)

29ページの【主な取組と成果】には、取組と「しました。」「図りました。」と記載があり、30ページから【主な課題】があります。それについては、「取り組む必要があります。」とか、「支援が必要です。」という記載にしています。ご意見の28ページも【主な課題】になるので、書きぶりはそのようにしています。

(委員)

ただ、評価がDなので、もう少し力強く記述してほしいです。

(事務局)

それは、おっしゃるとおりです。C、D評価でありながら、課題の記述が少ない点については、追記したいと思います。

(委員長)

【主な取組と成果】と【主な課題】がわけて記載されているので、そのあたりも含めての整理をお願いします。

(委員)

33ページの【重点テーマ】に「自立して力強く生き抜く力」とあります。力強さを前面に出すことは悪いことではないですが、いじめ被害者や自立できない子はダメだという誤ったメッセージに捉えられるのではないかと感じました。とは言いつつ、後のほうの本文で不登校対応やいじめ対応、SOSの出し方等、明記されています。キャッチコピーを出すのであれば、サポートがあることを上手く表現してほしいです。36ページの「めざす人間像」には、「ふるさと加東を愛し、共に支え合いながら、豊かな社会を創造していく人」とありますが、この部分をセットで表記してほしいと思います。

(委員長)

これは、考えてほしいということによろしいですか。

(委員)

今ここで回答を求めるものではありません。「自立して力強く生き抜く力」は、本当に必要だと思います。ただ、不登校等の方がいた時に、自立できなかったからダメと安易に

揚げ足を取られないようにしてほしいので、必ずセットで言葉を入れてほしいと思います。例えば、第4期ひょうご教育創造プランでもサポートする言葉が必ずセットで出ています。

(委員長)

【重点テーマ】の下に、サポートする言葉を追記してほしいという要望です。事務局よろしいですか。

(事務局)

不登校の子どももそうですし、発達障害を持っている子どもの最終的な目標は、社会参加や社会的自立という言葉があります。当然、自立しなければダメということではなく、目指すことが必要ではあるので掲げています。ただ、もう少しどこかでサポートできるような文言が必要だと考えます。

(委員)

加東市はサポートをしっかりしているのに、していないような表現になっているのが良くないと思います。自立するためにサポートしていることを、もっとアピールするべきだと思います。

(事務局)

例えば【重点テーマ】の上の文言のところで、何かサポートの部分について追記を検討します。

(委員長)

補足する内容について、また検討願います。

その他、変更点についてのご質問、ご意見はありますか。

(委員)

2ページについて。前回、第3期加東市教育大綱と今回の第4期加東市教育振興基本計画との整合性について、質問が出ていたと思います。同時進行のため整合性については、事務局に任せないといけないと思います。それと同様に〔主たる関連計画〕の内容も、私達はチェックできません。その整合も書いてあり、そういうところは事務局任せになると思いますが、意見として、整合して進めていただきたいと思います。

(事務局)

〔主たる関連計画〕は、市の上位計画である総合計画も踏まえています。今回の教育振興基本計画には、総合計画の指標を兼ねているものもあります。当然、そこでの指標や記載内容については、整合性を図ります。教育大綱については、総合教育会議で最終決定することになります。この計画も、市長部局と連携を密にして情報共有しながら、教育大綱と教育振興基本計画の整合を確認した上で進捗を図りたいと思います。

(委員長)

各計画・大綱等の整合性は大事なので、ズレのないようにだけお願いします。

その他、ございませんか。

(委員)

22、26、29ページに基本方針Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの年度ごとの総合評価が出ています。A、B、C、Dの評価が付けられていますが、それが何を意味しているのかだけでも注釈で表の下に付記してもらえると、わかりやすいという要望です。

(委員長)

今の要望について、事務局よろしいですか。

(事務局)

事務局側では点検と評価を毎年行っていますので理解していますが、これだけをご覧になると理解が難しいところだと思います。工夫して表記します。

(委員長)

その他、変更点についてのご意見、ご質問はございますか。

(委員)

17ページからの各施設の利用状況について。令和2年度はコロナの影響で非常に少なくなっていることは皆さんおわかりだと思いますが、そのことについて一覧表のどこかに付記してもらえると有難いです。

(委員長)

コロナで減少になった理由についての付記ということですが、事務局よろしいですか。

(事務局)

点検と評価でもコロナの影響を受けている部分は黄色のセルにしていますので、同様に工夫したいと思います。

(委員)

19ページの「高齢者大学」は令和6年度の参加者数217人とありますが、今高齢者が増えているので、もう少し多くても良いと思います。それと同様に「伝の助かるた大会」も99人ですが、何故こんなに減ったのかお聞きしたいと思います。

(事務局)

「高齢者大学」の参加者数は確かにコロナ禍で減少し、今は生徒を呼び戻そうということで、参加しやすい教室等を実施しながら回復しつつある状況ですが、今は65歳以上でも働いている方が増えている中、これ以上はなかなか人数が戻らないのではないかという声もあります。また事業を精査しながら呼び戻したいと考えています。「伝の助かるた大会」も人数が戻りきっていないところですが、学校等に呼び掛けたいと思います。

(委員)

対策等をお願いします。

(委員長)

私から一点だけ。8ページの書きぶりを揃えてもらえたらと思います。(2)「社会環境」に①～⑦までありますが、③と④だけ対応がついています。付けるのであれば全てに対応を付けるか、③④の対応を削除するか、どちらかで統一したほうがきれいだと思います。また検討願います。

それでは、ここから次の第4章「具体的な取組」についてのご質問、ご提案等をお受けしたいと思います。

(委員)

40ページの成果指標について。例えば、上から2つ目の「学校の授業以外で、平日に1時間以上学習する児童生徒の割合」は、小6と中3が合算された割合という認識で良いですか。中3の生徒が高校受験に向けて勉強しているのと、小6の児童が中学校に上がるために勉強していると考えた時に、評価として合算して良いのか疑問です。

(事務局)

合算した数値になります。令和6年度の小学6年生は49.1%、中学3年生は76.8%となりますので、委員がおっしゃることはよくわかります。

(委員)

そういう意味で、小6を勉強させたいのか、中3が勉強をするようにするのかで今後の施策が大きく異なるのではないのでしょうか。他にも例えば「パソコン等を活用し～」は、社会課題を解決するために小6が資料を整理するのと、中3が行うのとでは全然レベルが違うと思います。そういうところは、同じまとめで良いのですか。他にも合算されているところがあるので、そこは明確にしてほしいです。

(委員長)

合算が良いのか、それとも小中一貫教育を考えているので9年間を見据えて中3だけを載せてしまうのか。結果として増減を見る分には支障はないと思いますが、書きぶりをどうするか検討願います。このままでいくなら、それはまた報告いただけたらと思います。

(委員)

46ページ施策②「健康教育の推進」について。今年も登下校時や、本来の体育祭等の時期を変える等の熱中症対策があったと思います。それについても載せてほしいです。

(事務局)

熱中症対策については学校行事や施設整備も踏まえてどういう形でどの取組に入れるのが良いのか、全体を見ながら検討したいと思います。

(委員)

ここには、コロナウイルスやインフルエンザ等が載っています。熱中症対策についてもここではないかと思いましたが、その点は事務局で検討願います。

(委員)

先ほどのようなご意見について、体育施設にエアコンが整備された実績もありますので、そのあたりもアピールしてほしいと思います。

それと、11月の市民アンケート結果とありますが、調査票は既に配布されているのですか。

(事務局)

アンケートは既に配布されておりまして、10月下旬が期限だったと思います。そこから、11月中頃にかけて集計予定で進めています。

それと空調の件ですが、取組については計画の前段部分に入っていると思います。ほとんど空調は入っていますので、熱中症対策としての表記方法は検討したいと思います。

(委員長)

アンケートについては、次回会議までに間に合えばということをお願いします。

(委員)

42ページの指標の一つ目「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」について。実績値が76%であるのに対して、令和8年度の目標値が60%と下がっているのは、何か意味があるのでしょうか。

(事務局)

加東市の総合計画があり、その中に令和9年度までの目標数値が既に入っています。協議の結果、総合計画の数値をそのまま目標値として入れています。令和10年度以降は、新たな数値が入っています。

(事務局)

関連してお答えします。総合計画期間中の特に令和6年度の実績数が出てしまっているものもありますが、9年度までは総合計画の指標があります。この教育振興基本計画でも同じ項目を指標として使う場合は、目標値を全く別の数値にはできないため、9年度までは引用しています。ただ、令和10年度以降は総合計画の指標はありませんので、こちらで傾向を見ながら新たに目標値を設定しています。

(事務局)

補足します。先ほどご質問を受けました小6と中3の合算について。総合計画で小6と中3が合算されているため、令和8年度・9年度はその数値をそのまま使っています。

(委員長)

そのあたりも含めて、検討願います。

(委員)

39ページ「小学校において「ジョリーフォニックス」を継続的に指導することで、中学校へのスムーズな接続を図ります。」とありますが、どういう教材でどういうものかわからないので、教えてください。

(事務局)

「ジョリーフォニックス」は、文字と音を繋げた指導方法になります。アルファベットのAを見た時の音を結び付けて覚えることにより、全く知らない単語であっても単語の文字を見れば発音ができるというものです。それが小学校できちんと学習できていれば、中学校での発音がスムーズで、文字を見たら発音ができるという指導方法を、小学校2年生から続けています。今指導しているALTや英語担当者に、非常に効果的だと聞いていますので、これは続けていきたいと考えています。

(委員)

過去になかったが、今の時代は必要だと思うのでよろしくお願いします。

(委員)

46ページ施策②の取組1「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進」に「適切な意思決定と行動選択ができるようにするため」とありますが、薬物や飲酒は小中学生に対しては絶対ダメなので、はっきり強い意思を示しても良いと思います。

施策③「食育の推進」の地産地消は良いと思っています。さらにいろいろな国際認証の食材など、より食育を意識したものを使ってほしいので表現として検討してほしいです。ここに書くのが適切かどうかわかりませんが、アレルギー対応もしているはずなので、していることをよりわかりやすく記載してほしいと思います。

(委員長)

まず、46ページ施策②の取組1の表記について。

(事務局)

修正したいと思います。

(委員長)

ここに書いてあるのは、薬物についての「適切な意思決定」ではなく、友達や周りの人からの誘いについての適切な意思決定だと理解しています。そのあたりも含めて記述していただくことが適切かと思います。

それから、食育の推進の記述について。

(事務局)

認証がついているものもありますが、地元のお野菜等は特に指定はしていない状況です。

アレルギー対応については、除去食は施設上できませんが、保護者から医師に症状等を書いていただいたものを学校に提出してもらい、それが給食センターに届いています。それによって、各保護者にアレルゲンを記載したものをお渡ししています。食材についても、加工食品等を使うことがあります。できる限りアレルゲンが少ないものを使用しています。例えば、揚げ物は米粉を使用して小麦アレルギーの子も食べられる等の対応をしています。どこか記載できそうな箇所があればですが、検討したいと思います。

(委員長)

量もあるので、どこまで細かく書けるかがあります。これは計画ですので、そのあたりも配慮の上、書ける分だけを書いていただくということをお願いします。

(委員)

39ページ施策③「外国語教育の充実」の英語学習について。中学生の姉妹都市への留学等の計画があれば、追記してもらえればと思います。これは意見になります。

(委員長)

計画があればということで、お願いします。

(委員)

47ページ取組3「かとう和食の日」の啓発に「学校給食で和食給食を提供します。」とありますが、普段食べているものは、フレックスだと思います。あえて和食給食と強く打ち出しているのは、何故ですか。何か定義があるのですか。

(事務局)

和食給食という定義があるかないかはわかりませんが、「かとう和食の日」を加東市で平成28年度に制定しており、それを給食でも実施して啓発するようにしています。加東市では、学校給食で1～3学期に和食給食の日を設けており、学校食育だよりもその月に出しています。和食の合言葉として「まごはやさしいわ」というものがあり、それに沿って地元の生産者が作っている野菜等を献立に入れるように心がけています。学校食育だよりには、子どもにもわかりやすいように和食の合言葉の食材を入れて指導もしています。和食給食に合わせた食育活動として、各学校で例えばお魚の給食であれば1年生はお魚の食べ方を学習したり、お出汁の取り方を学習したり、和食に関連したクイズを出したりしたものを食育活動報告としてあげてもらっています。

(委員)

今の回答では、何の回答にもなっていません。

(事務局)

文言そのものを検討します。

(委員)

「かとう和食の日」とは何か、その定義は。

(事務局)

和食の定義をしているわけではなく、加東市で和食と言われるものを食べましょうと。

(委員)

わざわざ書く必要はあるのですか。

(事務局)

取組そのものの表現としてここに「かとう和食の日」を使うのが適切かということもありますので、まずは「和食給食」という言葉は使用しません。それから、取組3についても「伝統的な食文化を学ぶ機会の創設」等に変更できればと現時点では考えています。

(委員)

地産地消の文言を膨らませて、そこを強調するようなもののほうが良いのではないですか。

(事務局)

取組1に統合させるような形をとるか、検討します。

(委員長)

委員のご意見もごもっともなので、もう少しほんわかとした表現に変えたほうが良いのではないかと思います。「和食を意識した給食を提供」等に表現を変更することを検討いただくのが良いと思います。現に学校現場では取り組んでいることも事実なので、削除してしまうのもどうかと思います。

(事務局)

取組3については、他と違って個別事業と名称がそのまま出ていますので、もう少し大きな括りにしてその中で表現する等、検討したいと思います。

(委員)

一番上にSDGsの絵が描いてあるのは、良いアイデアだと思います。例えば学校教育の中でSDGsについて道徳の中等に入れて授業があるのか、お聞きしたいと思います。

(事務局)

SDGsについては、3ページに記載しており、それぞれの基本的方向ごとにその項目を入れています。事務局でも改めてこの項目で良いか、活かせる項目がないか確認したいと考えています。

(委員長)

学校の授業でやっているかどうかの質問です。

(事務局)

学校でも貧困について等いろいろなテーマに沿って、総合的な学習等で学習する場合があります。全てではありませんが、市の取組と繋げて学習を行っています。道徳と繋がるようなテーマもありますし、環境、人権、平和等、いろいろな学習と繋がっているので、その繋がりの中で必要な時に必要な教材で学習しています。

(委員)

教科書に載っているのですか。

(委員長)

SDGsについては、社会課題なので全ての教育課程の中で行うことが原則だと思います。

(委員)

42ページ、取組2「主体的に社会の形成に参画する態度等の育成」に「身近な課題を自分たちで解決する経験や様々な教育活動を通じて」とありますが、例えば加東市の課題解決のために課題解決コンテストを実施して、中学生が社会課題の解決のためのテーマを設定し、その最優秀賞は事業化していく等の計画はありますか。それと、「夢」や「志」という言葉が結構出てきますが、夢の話は出てきても志が出てきません。表現がもしあれば、記載をお願いします。

(事務局)

自分達で課題を見つけて解決していくことを、総合的な学習や社会科等いろいろな教科で行われていると思います。例えば、総合的な学習で加東市をより良くするためにどんなことができるかという課題があった場合、子ども達が福祉や交通等いろいろな視点から考えて、それを教室の中で発表し、市の方に聞いていただくという学習に発展させる場合もあります。学年を超えて交流する場合もあります。社高校の学習研究の発表の場に呼んでいただいて、中学生が発表することもあります。いろいろ発表の場がありますので、そういうところを意識して取り入れていきたいと考えています。

(委員)

市で取り組んでいることは、書いてほしいです。もう一点は、市が小中学生の提案を実際に事業化したことがあれば、そういうこともアピールしてほしいと思います。

(委員長)

これは計画で毎年評価があるので、取り組んだことはきちんと記述する方向で良いと思います。

もう一点、志について。

(委員)

36ページの「めざす人間像」に「夢や志をもち」とありますが、中身に夢の実現のためにという表記はあっても、志を見つけるためにという表記がないように思います。道徳なのか体験学習なのかキャリア教育なのかはわかりませんが、記載してほしいというお願いになります。

(委員)

41ページの施策①「キャリア教育の推進」取組1「基礎的・汎用的能力の育成」に「基礎的・汎用的能力の4つの能力を育成するため」とありますが、4つの能力とは何かという話になるので、具体的に1つ1つの能力を記述すると志に近づくのではないかと思います。

(事務局)

志という言葉を用いた取組はないと思いますが、目標という言葉に言い換えているところがあります。加東市ではかとう夢授業を推進しており、子ども達がプロの方の生き方や考え方のお話を聞く機会を設けています。それによって、諦めずに頑張ることの大事さや、こんな人になりたいという憧れや夢を持つ場があります。ご意見を伺って、そのようなところをもう少し記載できれば良いと思いました。

(委員)

まず、憧れを作ることは大切だと思います。ただ、それを聞いた後にどうやって実現するのかは、講演会等では時間が短すぎると思います。キャリア教育をもう少しサポートして、子ども達が自分の将来像を描いた道にいきつくためのサポートをしてほしいという要望です。

(事務局)

今言われたことは、委員のご意見の「基礎的・汎用的能力の育成」に繋がっていくと思います。良い機会を捉えて、それが上手く繋がっていくような学習をしていきたいと思います。

(委員)

41ページ施策②「地域学習の充実」取組2「地域人材活用による学びの充実」とあります。東条学園では、現在学校運営協議会が子ども達の体験活動を充実させていく取組をされていると思います。「学校運営協議会と連携し」という文言を追記してほしいと思います。

(事務局)

文言を追記したいと思います。

(委員)

46、63、67ページに、それぞれ運動部、文化部、地域クラブ等の事柄について記載がありますが、ボリュームが少ないと感じます。神戸新聞に記事が出ていたりもしますので、もう少し何らかの付記があるのではないですか。

(事務局)

例えば63ページ施策②「文化芸術団体への支援」を入れています。部活動の地域展開については、加東市では令和10年度を目途に計画を進めています。現在は学校部活動の位置付けになりますが、今後地域展開後は地域で活動している例えばスポーツ少年団やスポーツクラブ21等の社会教育団体と同じような文化・スポーツを振興する団体の一つとして考えていますので、この中に同じような形で支援として表記する位置づけで考えています。文章のボリュームとしては物足りないかもしれませんが、支援していく方向で考えています。

(委員)

もう少しボリュームがほしいです。

(委員長)

ご意見として聞いておいてください。

(委員)

52ページの基本方針Ⅱについて、全体的な質問になります。思った以上に学校長の裁量を強く依頼していると思います。優れた学校長であれば進んでいくと思いますが、学校間の格差が気になります。そういう意味では、教育委員会のリーダーシップを強くしてほしいと思います。例えば、53ページの成果指標に「1か月の時間外在校時間が平均45時間以下の教職員の割合」とあります。学校長のリーダーシップだけで残業が減るのか、不安になります。教育委員会のリーダーシップについても、明記してほしいと思います。

(事務局)

おっしゃるとおり、教育委員会のリーダーシップも必要と考えています。その表記をどこかに入れる方向で検討します。スクールサポートスタッフや教室に入れない子の支援や生活指導補助員等、市の職員のいろいろな方に支援していただいています。教育委員会についても明記したいと思います。

(委員)

民間企業には、36協定があります。民間から見ると、45時間を指標にすること自体に違和感があります。

(委員長)

世界で一番残業が多いのは学校現場なので、そのあたりも含めて。

53ページの成果指標の「学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合」、「1か月の時間外在校等時間が平均45時間以下の教職員の割合」は、目標値がこれで良いのかと思います。いつも評価する時に困ります。勤務時間が45時間以下は、100%でないといけないのではないのでしょうか。目標値85%で、残り15%ができていなくて良かったという評価はできないけど、目標達成しているから良かったと評価しないといけない。いつもダブルスタンダードになってしまって、評価しにくいです。こういうものが多いです。目標値は不要ではないのでしょうか。これまでの経緯があるため、急に途中で変えられないと以前言われましたが、5年に1回変更できるのであれば検討したいと思います。極端に言えば、いじめは今年20件ありました、来年目標値10件にしましょうなんて、許されるはずがないです。0件にしないといけません。それと同じで、数字は独り歩きしてしまうので、可能であれば目標値だけでなくすことを検討願います。

(委員)

いじめの話が出たので、お伺いします。52ページについて。新聞報道もあったいじめの重大事象について、第三者委員会の結果を踏まえてこの資料が書かれているのでしょうか。それとも、第三者委員会の報告書を踏まえずに書いているのでしょうか。そういう意味で、取組2に「警察、福祉関係」とありますが、「弁護士」等も追記して関係機関が強力に進めてほしいというお願いになります。

(委員長)

取り入れられる部分は、取り入れていただきたいと思います。

(委員)

他市では、いじめの事象が起きる前と後の計画では180度違う表現に変わっています。そういうことも踏まえて、より強力な表現を希望します。

先日、滝野中学校のところで遺跡等が発掘されたという新聞報道がありましたが、65ページの施策①「文化財の保護」に書いてあるとおり、せっかく発掘されて良いものがあるのであれば、文化財保護をお願いします。

(事務局)

元々遺跡があった場所の連担地域なので、やはり様々なものが出てきています。明後日にその件についての説明会がありますが、文化財そのものについては開発のための文化財調査のため、基本的にはしっかり調べて記録を取り、その後は埋めてしまいます。ただ、出土したものの展示や保管は文化財の活用・保護ということになります。学校で出たものでもありますので、学校開校時には児童生徒に何らかの形で展示する等は考えられると思います。保存がどのような保存となるかは専門家ではないので詳しくはわかりませんが、保存すべきものは今回の文化財についても適切に保存していきます。

(委員)

学校で発掘されたということで、児童生徒に対して文化財を守ることを伝えることで、加東市の地域プライドに繋げてほしいと思いました。

5. その他

(事務局)

閉会にあたり、石井副委員長より閉会のあいさつをお願いします。

(副委員長)

○閉会あいさつ

(事務局)

皆さまの机上に、次回委員会の日程調整の用紙を配布しています。11月中旬から下旬で考えていますので、ご確認の上ご回答ください。

6. 閉会